

日本基督教団 八ヶ岳教会 宗教改革記念日 主日礼拝 NO.1196 2021年10月31日

牧師	山本護	奏楽	山本恵美	第一部礼拝	司式	露木淳司	9:30~10:30
	※讃美歌は二番までうたいます			第二部礼拝	司式	辻りち子	11:00~12:00
前奏	黙想			讃美歌	286	かみはわがちから	
讃美歌	26	こころをかたむけ		聖餐式			
祈禱				讃美歌	205	わが主よ、今ここにて	
信仰告白	使徒信条 566			献金			
聖書	ハバクク書 2:4			讃詠	547	いまささぐるそなえものを	
	ローマの信徒への手紙 1:16~17			黙禱			
讃美歌	280	わが身ののぞみは		主の祈り	564		
説教	『我々の生きた、大胆な信頼』			頌栄	542	世をこぞりて	
祈禱				祝禱	後奏		

プロテスタント教会が起こされる火種は1517年10月31日。公開討論を求めるM.ルター修士による「95箇条の提題」。爆弾抱えた提題を出すようにと、彼を突き動かした御言葉は、「福音には神の義が掲示されているが、それは初めから終わりまで信仰を通して実現される。[正しい者は信仰によって生きる]と書いてあるとおりである(マ1:17)」。ルターにとってこの御言葉は、雷に打たれたような啓示であった。私たちがそうした衝撃を経験したか、衝撃など無いまま淡々と変化して来たか。

「正しい者は信仰によって生きる」といっても、その信仰とは何か。ルターは「信仰とは、神の恵みに対する我々の生きた、大胆な信頼である」と言った。神の恵みへの、私たちの大胆な信頼。すなわち「福音を恥としない(1:16)」生き方か。「恥としない」とは消極的な肯定のようだが、どんなに脅されても「そこは譲れないよ」という覚悟や矜持だろうか。なぜなら信仰を通して実現する福音(1:17)は「救いをもたらす神の力(1:16)」だから。キリスト者は自らの信仰を、弱いとか、貧しいとか、気まぐれだとか、謙ったように値引くが、これはほんでもない傲慢。「私の信仰」は私の所有ではなく、「救いをもたらす神の力」の現れだ。「私の信仰」は神の力よる現象であり、値引きなどできない。

「彼の心は正しくありえない。しかし、神に従う人は信仰によって生きる(ハク2:4)」。この預言者の言葉が、「正しい者は信仰によって生きる(マ1:17)」と引用されている。イスラエルの民は問うた。神は義しい方であるのに、なぜカルデア人を起こして(ハク1:6)、惨い暴虐を為さしめるのか(1:9)。呻吟する民への答えは、「神に従う人は信仰によって生きる(2:4)」。だから今は堪えておれ(2:3)と語る。預言者は民に主体的な「信仰」を求めた。私たちの信仰とはただ、生きて働かれる神への信頼。人は恐れては問い、混乱しては問う。そしてその問いへの答えは常に、「神への大胆な信頼」であった。

宗教改革者たちの肖像画はそれぞれに印象的。ルターはむっちりして逞しく、カルヴァンは痩身でいかにも理知的。その姿からも想像できるが、ルターはまことに素朴。純情で不器用なゆえに、勤勉・禁欲を実践しながら、「どうして俺はこうもダメなんじゃ」と喘いでいた。ロマ書を記したパウロもそうだった。「善をなそうと思う自分にはいつも悪がつきまどっている(マ7:21)。ああ、なんと惨めな俺なのか(7:24)」。ルターは激しい葛藤の中、御言葉の森、深くに踏み込んだ。「福音、神の義」、それらが「初めから終わりまで信仰を通して実現される(1:17)」ことの深みに。嘆きの闇があつてこそ光に出会った。自分が神を捉えているのではなく、神の力にガッチリ捉えられている自分に成った。

「福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力(1:16)」。その「神の力」は、「初めから終わりまで信仰(私たちの)を通して実現される(1:17)」。ユダヤ人やギリシア人のように、いろいろな姿で、さまざまな形で、乏しく見えもし、溢れるばかりにも見えながら。「神が義とし給う時は、我々に罪を負わせることによってそれをし給う(ルター)」。闇あつてこそその光。

「信仰は見えないものに向かう～それが最も深く隠されるのは外観や感覚や経験とまったく矛盾する場合である(ルター)」 だから私たちは 罪を負って福音と巡りあい 死の内で永遠の命に与る

本日礼拝後1:00～田村眞兄のお別れ式をおこないます。兄は10/16に召され10/19に火葬。知己ある方はご出席ください。11/7の礼拝後に役員会。牧師の動き:11/4 刑務所で集合教誨と個別教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。